



萱中だより

《校訓》 礼儀・自主・勤労・協同

三笠市立萱野中学校

校長 菊地 佳子

三笠市萱野 192 番地 Tel 2-2308

発行：令和2年4月28日 <1号>

ご入学おめでとうございます

4月7日（火）の入学式で元気な新入生5名を加え、全校生徒17名で萱野中学校の新学期がスタートしました。

新型コロナウイルス感染症の拡大感染防止のため、卒業式に引き続き、入場制限そして短縮した形での入学式となってしまいましたが、式では新入生呼名に全員がしっかりとした返事で応え、中学校生活への決意も立派に述べることができました。勉強に、部活動に、学校生活に、

「こんなことをがんばろう」、「こんな努力をしていこう」と思っていることでしょう。その気持ちをこれからも持ち続け、実り多き中学校生活を過ごしてほしいと思います。

保護者・地域の皆様、これから教育活動の様々な場面でお世話になることと思います。今年度も萱野中学校をどうぞよろしくお願い致します。



今年の萱野中学校の職員です。

《『チーム萱野』で生徒と共に！よろしくお願ひいたします。》

職名	氏名	本校勤務	学年	担当教科	校務分掌	部活動
校長	菊地 佳子	2年				
教頭	井家 敏昭	2年				
教諭	宮崎 智恵	4年	1年担任	理科	地域連携（教務部）	羽球
教諭	滝沢 裕一	5年	1年副担	数学科	教務（教務部）	バスケットボール
教諭	今 竜一	3年	2年担任	保健体育科・技術科	生活（指導部）	陸上競技
教諭	高田 淑美	3年	2年副担	国語科	研修（教務部）	バスケットボール
教諭	太田富貴子	6年	3年担任	音楽科・家庭科	体育（指導部）	陸上競技
教諭	加賀谷 哲	3年	特別支援学級担任	特別支援・美術科	特別支援教育（指導部）	羽球
教諭	大川沙奈美	7年	3年副担	英語科	学習（教務部）	陸上競技
教諭	高橋 健治	3年	3年副担	社会科	生徒会（指導部）	陸上競技
養護教諭	坂上 彩	2年	2年所属		保健（指導部）	羽球
事務職員	土屋 宣裕	3年			事務（事務部）	
公務士	佐々木盛二	10年			（事務部）	
事務生	山崎 夏美	12年			（事務部）	
ALT	ソフィア・チャソ	2.5年		英語科		
SC	石川 正人					

『新年度の抱負』

例年、始業式で代表生徒による決意表明を行っていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大感染防止のため、紙面による決意表明となりました。

実現に向け、がんばっていきましょう。

「新年度への抱負」

生徒会長

2・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。そして、1年生のみなさん入学おめでとうございます。私たち2・3年生は1年生のみなさんが入学してくるのを楽しみにしていました。全校生徒17人で協力して、今、この状況を乗り越えていきましょう。

私は新しい学年になってがんばりたいことがたくさんあります。その1つとして学校祭があります。3年生は今年で最後だからです。みなさんは、何をがんばりたいと思っていますか？生徒会でも、全校生徒のみなさん、観客の方々を楽しませ、感動させられるようにがんばります。

また、新型コロナウイルスはいまだに終息せず、東京では1日に百人以上の感染者が確認される日もあり安心できない状況が続いています。手洗い・うがい・消毒をしっかりとし、体調管理に努めましょう。

新年度となり新たな学年としての1年が始まります。それぞれ1年生・2年生・3年生としての自覚を持って、楽しい学校生活を送りましょう。

「3年生への決意」

3年1組

僕は今年受験生となるので、それぞれ志望校へ行けるように家庭学習をしっかりとしたり、学校ではお互いに勉強を教え合うなどして協力して頑張っていきたいです。そして笑顔で卒業できるようにしたいです。また、学校生活では、いろいろな行事や委員会などで最高学年として、その場にふさわしい発言や行動をし、下級生のお手本となるようにしていきたいです。部活動では中体連が最後となります。新型コロナウイルスのこともあり、どうなるかわかりませんが、後悔しないようにしっかり練習をしていきたいと思います。そして、中学校生活最後の1年、時間を大切に使い、たくさんの良い思い出ができるようにしていきたいです。

「2年生の抱負」

2年1組

私が二年生になって頑張りたいことは、テストとあいさつです。テストでは、良い点数を取れるよう、教科書を読んだりワークを見直したりして勉強したいです。あいさつでは、新一年生に格好良くあいさつや返事ができるように頑張ります。学級では目標である「有言実行～自分に厳しく仲間を思う心を忘れない～」を意識しながら頑張りたいと思います。

【第2学年】



【第3学年】



新年度を迎え「心機一転」と思っていた矢先の再びの臨時休業……。非日常が続いており、ストレスを感じている人も多いかと思います。イギリスを始め世界各国では、感染対策の最前線で働く人たちに感謝するために『医療・介護従事者に拍手を』というキャンペーンが行われているそうです。私たちも辛い状況にありますが、自分だけではありません。この状況を克服するために必要なことは、自分ができることをしっかりとし続けることです。みんなで協力してこの危機を乗り越えましょう！

令和2年度 萱岡小中 PTA



◆日課
会議日課 6h→15:00 下校
5h→14:05 下校

◆SC
スクールカウンセラー来校日

会長	豊田 貴範 様 (新)
副会長	小松 雄司 様 (再) 伊藤 友美 様 (再) 八谷 憲一 様 (新)
会計	最乗 裕明 (新)
事務局長	柏崎 尚人 教頭 (新)
事務局次長	井家 敏昭 教頭 (新)
会計監査	坂上ひとみ 様 (再) 徳永 一美 様 (再)

新型コロナウイルス感染症の拡大感染防止のため、PTA総会を行わずに紙面での提案とさせていただきますが、今年度の活動方針、予算等ご承認を受けました。また、今年度は上記の方々に役員を引き受けていただくことになりました。

小中のPTAが一本化しての7年目。部会の活動はCSの活動と一体化し、3年目のスタートとなります。新型コロナウイルス感染症の影響で活動の目処が立っていない状況ですが、昨年度より充実した活動ができればと思います。

1年間どうぞよろしくお願いたします。

この度の新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした偏見・いじめ等の問題や新年度を迎える時期における進学や進級に伴う学校生活等に関する不安や悩みを相談できるよう「子ども相談支援センター」の相談窓口が開設されております。

子ども相談支援センター
相談窓口のお知らせ

- ・学校に行きたいのに行けない...
- ・嫌な思いをしている...
- ・誰かに聞いてほしい...

そんな時に、相談できる窓口があります。

●電話相談
☎ 0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)

●メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

日	曜	学校行事	日課	給食	SC
1	金	臨時休業			
2	土				
3	日	憲法記念日			
4	月	みどりの日			
5	火	こどもの日			
6	水	振替休日			
7	木	短縮登校 前期生徒会費納入(~12日)	3H	×	
8	金	短縮登校	3H	×	
9	土				
10	日				
11	月	開校記念日			
12	火	委員会	会議	○	
13	水	内科検診 13:30		○	
14	木			○	
15	金			○	午前
16	土				
17	日				
18	月			○	
19	火	校内研修	5h	○	
20	水	職員会議	会議	○	
21	木			○	
22	金			○	
23	土				
24	日				
25	月	小中一貫合同研修会	5h	○	午前
26	火			○	
27	水		会議	○	
28	木			○	
29	金	第1回英検(1次)		○	
30	土				
31	日				

4/27 現在の予定です。今後も大幅な変更も予想されますので、ご承知おき下さい。

三笠の社会福祉協議会のみなさんのお手製マスクが生徒分届けられました。
ありがとうございます。

4月8日(水)より自転車通学が始まっております。開始のお知らせにも書かせていただき、交通安全教室でもお子さんにお話をさせていただきましたが、万一の事故に備え、自転車損害賠償保険等へのご加入をお願いいたします。(自転車条例より)また、ヘルメットの着用も努力義務となっておりますので、併せてご協力頂きますようお願い申し上げます。

こんな時ですが春を感じながら…

校長 菊地 佳子

「春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。」 ～清少納言 「枕草子」より～

現代の言葉にすると「春は明け方がいい。だんだんと白くなっていく山の稜線が、少し明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいている景色が、趣き深くていいのだ。」ということになります。

中学時代に暗記した（させられた…）記憶のある方も多いのではないのでしょうか？

いにしえの人は、身近な風景から春を感じる心の余裕があったのでしょうか。（私も、例年でしたら、春の香りや春の景色から季節の移り変わりを感じていました。）

いつもの『春』ならば、少人数ながら在校生と共に卒業式や離任式では思い出を噛みしめながらお別れし、入学式や着任式では感動的な新たな出会いがあるのですが、今年は縮小バージョンの式で送り出し、受け入れたことに、誰のせいでもない知りつつも「新型コロナウイルス感染症」を恨めしく思い、生徒たち、保護者の皆さまには大変申し訳なく思っているところです。

ニュースを見ていると「コロナ」一色で、正直なところ気分も滅入ってしまいます。

現実を直視し、溢れる情報を取捨選択し、理解していくことも大事ですが、こんな時にはいにしえの人を見習って、自分なりの「春」を見つけて感じるのも良いかと思えます。

どんな時も春はやってくるもので、校舎前の老松の松ぼっくりを昨年の秋に拾い集めました。その松ぼっくりから落ちた種を土に植えてみたところ、かわいらしい芽が出てきました。



種が付いているうちは、王冠のような形に見えます。



種が取れると台風で壊れた傘の骨だけのよう形に見えます。

ささやかな、この『発芽』に癒されています。

さて、マスクが手に入りにくい昨今、学校再開に合わせて三笠の社会福祉協議会のみなさんのお手製マスクが生徒分届けられました。有難い限りです。ありがとうございます。

萱野中学校は、晒の布で縫った「萱ちゃんマスク」を2枚とキッチンペーパーの使い捨てマスク2枚を生徒全員に渡しました。市販の使い捨てマスクは医療機関や介護施設などを優先して配ってもらえれば良いと思って、マスクを作りました。夢中で縫った「萱ちゃんマスク」が出来上がったときは、『春はあけぼの』時刻でした。（そして今月、政府からの布マスクも生徒に2枚届きました。）

早く通常の生活が戻ることを、みなさんの安全を祈って…4月が終わります。

今年度も地域・保護者の皆様のご理解・ご協力、よろしくお願い申し上げます。